

大学教育推進機構 大学教育研究推進室の 研究業績・教育活動

(2017年4月1日～2018年3月31日)

米谷 淳 教授

○ 紀要論文

- ・ 「授業改善に関する実践的研究 -14.BEEF と KULiP による学修支援」『大学教育研究』第 26 号、神戸大学大学教育推進機構、pp.149-158、2018.3.31

○ その他

- ・ 「学修支援と集団力学 ①リーダーシップ訓練と PBL」『文部科学教育通信』第 409 号、文部科学省、pp.12-13、2017.4.10
- ・ 「学修支援と集団力学 ②ICT 活用の光と陰」『文部科学教育通信』第 410 号、文部科学省、pp.22-23、2017.4.24

○ 教育業績

<学内における授業の担当>

- ・ 平成 29 年度前期 1Q 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「対人行動特殊講義 1」
- ・ 平成 29 年度前期 2Q 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「対人行動特殊講義 2」
- ・ 平成 29 年度前期 国際文化学研究科（博士課程後期課程）「対人行動論特別演習」
- ・ 平成 29 年度前期 1Q,2Q 全学共通教育「心理学 A」
- ・ 平成 29 年度後期 国際文化学研究科（博士課程前期課程）「感性コミュニケーション論演習」
- ・ 平成 29 年度後期 3Q,4Q 全学共通教育「心理学 A」
- ・ 平成 29 年度後期 4Q 全学共通教育「環境学入門 B」（第 6 回 環境とコミュニケーション） 2018.1.23

<学内における FD の担当>

- ・ 平成 29 年度新任教員ウェルカムセミナー 「BEEF の効果的な活用について」
2017.5.15

○ 学内活動等

- ・ 大学教育推進委員会委員

- ・ 全学教務委員会委員
 - ・ 全学教務委員会高大連携企画推進委員会委員長
 - ・ 全学評価・FD 委員会委員
 - ・ 全学評価・FD 委員会教育・検討 WG 座長
 - ・ 国際教養教育委員会委員
 - ・ 国際教養教育委員会事業専門委員会委員長
 - ・ 情報基盤センター運営委員会委員
- 社会活動等
- ・ 大学コンソーシアムひょうご神戸研修交流委員会委員
 - ・ 兵庫県教育委員会ひょうごグローバル・リーダー育成推進懇話会協議委員
 - ・ 平成 29 年度国立大学教養教育実施組織会議第 5 分科会「神戸大学の 2 学期クォーター制」、2017.5.26
 - ・ 近畿地区大学教育研究会第 86 回研究協議会「クォーター制の現状と課題」、2017.9.9
 - ・ 神戸大学附属病院医療技術部研修会「チーム医療における「コミュニケーション&リーダーシップ対処術」」2017.9.4
 - ・ 川崎病院看護部リーダーシップ研修 2017.7.28、2017.11.24、2018.3.22
 - ・ 三田市民病院卒 3 看護師リーダーシップ研修 2018.2.26
- 学会活動
- ・ 感情心理学会「感情心理学研究」編集委員会委員

山内 乾史 教授

- 著書・編著書
- ・ [単著] 『「学校教育と社会」ノート—教育社会学への誘い— (第二版)』学文社、2017 年 12 月
 - ・ [編著] 『現代アジアの教育計画 (補巻)』学文社 (杉本均・小川啓一・原清治・近田政博と共編著)、2017 年 12 月
 - ・ [編集委員] 日本教育社会学会編『教育社会学事典』丸善出版、2018 年 1 月
- 編纂書の一部に執筆したもの
- ・ 「大学への進学移動パターンの変化について考える—神戸大学を事例として—」山内乾史・杉本均・小川啓一・原清治・近田政博編『現代アジアの教育計画 (補巻)』学文社、2017 年 12 月、126 頁～139 頁

- 査読付き学術論文
 - ・ [紀要論文] 「大学進学に伴う都道府県内移動の考察（その2）—神戸大学の研究（その7）—」『大学教育研究』第26号、神戸大学大学教育推進機構、2018年3月、201頁～206頁

- その他論文等
 - ・ [雑誌論文] 「少人数教育はいかなる環境において有効なのか？」『文部科学教育通信』第414号（2017年6月26日号）、文部科学省、2017年6月、18頁～20頁

- 辞書項目の執筆
 - ・ [事典項目] 「概説：『グローバリゼーションと教育』研究の動向」（西村幹子と共著）「国際学力調査と教育へのインパクト」（原清治と共著）日本教育社会学会編『教育社会学事典』丸善出版、2018年1月

- 学会発表
 - ・ 「ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅲ）」第69回日本教育社会学会（於一橋大学）（原清治・浅田瞳と共同発表）、2017年10月21日

- 招待講演等
 - ・ 日本教育実践学会20周年公開シンポジウム「日本における教育実践研究の動向—フランスとの比較を通じて—」（於佛教大学）指定討論者、2017年11月25日
 - ・ 北海道教育大学・愛知教育大学・東京学芸大学・大阪教育大学 文部科学省国立大学改革強化推進補助金事業 HATO プロジェクト「ミニシンポジウム・教員養成系大学における IR の課題—HATO プロジェクトの取組から—」（於大阪教育大学）コメントータ、2018年3月3日

- FD 講師等
 - ・ 「神戸大学の学生プロフィールと学修意識について」平成29年度神戸大学新任教員ウェルカムセミナー、2017年5月15日
 - ・ 「日本の教育制度と地方行政」JICA 課題別研修「教育行財政—基礎教育の質、内部効率性、格差に焦点を当て—」（於神戸大学）、講師、2017年6月28日

- 教育業績

国際教養教育院

 - ・ 「学校教育と社会」各クォーター2コマずつ計8コマ
 - ・ 「神戸大学の研究最前線 A、B」各クォーター1コマずつ計4コマ

国際協力研究科

- ・ 「比較教育計画論」後期1コマ
- ・ 「教育協力論演習」前期1コマ、後期1コマ

大学院生の担当

- ・ 国際協力研究科
後期課程5名、前期課程7名、研究生1名の指導教員を務める。
平成29年度において前期課程で修士論文の主査5本、副査2本を担当した。

○ 学内活動等

- ・ 大学教育推進委員会委員
- ・ 全学教務委員会委員長
- ・ 国際教養教育委員会委員
- ・ 国際教養教育院教務専門委員会委員
- ・ 国際教養教育院学際教育部会長
- ・ 附属図書館研究開発室 室員

○ 学会活動

- ・ 日本比較教育学会常任理事
- ・ 日本教育社会学会理事、教育部長

近田 政博 教授

○ 著書

- ・ 近田政博編著『シリーズ大学の教授法5 研究指導』玉川大学出版部、2018年、179頁

○ 論文

- ・ 近田政博「神戸大学における2学期クォーター制導入をめぐる課題」神戸大学 大学教育推進機構編『大学教育研究』第26号、2018年、103-118頁

○ 分担執筆

- ・ 近田政博、服部美奈、乾美紀「東南アジアの教育計画と質向上のための課題」山内乾史、杉本均、小川啓一、原清治、近田政博編著『現代アジアの教育計画 補巻』学文社、2017年、40-64頁

○ 教材改訂

- ・ 神戸大学 大学教育推進機構『神戸大学へようこそ！ 平成 30 年度初年次セミナー共通教材』2018 年、全 50 頁（主著者、平成 29 年度版を改訂、学内オンラインに掲載）

○ 雑誌記事

- ・ 近田政博「初年次教育の教材をどうつくるかー神戸大学の事例」『文部科学教育通信』No.411、2017 年、20-21 頁
- ・ 近田政博「クォーター制導入に対する大学関係者の反応ー神戸大学の事例を中心に」『文部科学教育通信』No.412、2017 年、22-23 頁

○ 学会・研究会等での発表

- ・ 近田政博「2 学期クォーター制導入を学生・教員・事務職員はどう受け止めたかー神戸大学の事例ー」大学教育学会第 39 回大会、広島大学、2017 年 6 月 11 日
- ・ 近田政博「ベトナム高等教育における質保証制度の特質と課題」日本比較教育学会第 53 回大会、東京大学、2017 年 6 月 24 日
- ・ 近田政博「日本の大学におけるアクティブラーニング導入に関する課題」韓国日本教育学会、高麗大学校（大韓民国ソウル特別市）、2017 年 10 月 21 日

○ 外部資金（研究代表者のみ）

- ・ 科学研究費補助金 基盤研究(B)（海外学術）「社会主義国の大学運営における党組織の役割変容に関する比較研究」（平成 26～29 年度）
- ・ 科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）「大学の中堅教員に求められる教学マネジメント能力とその形成方法」（平成 29～31 年度）

○ 学内における授業担当

平成 29 年度前期

- ・ 基礎教養科目 教育学 B（第 1 クォーター：1 コマ）
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」（第 2 クォーター：1 コマ）
- ・ 大学院科目「比較教育発展論」（国際協力研究科：1 コマ）
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」（国際協力研究科：2 コマ連続）

平成 29 年度後期

- ・ 基礎教養科目 教育学 B（第 3 クォーター：2 コマ）
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」（第 4 クォーター：2 コマ）
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」（国際協力研究科：2 コマ連続）

- 学外における授業担当
 - ・ 集中講義「比較教育学講義Ⅰ」名古屋大学教育学部、2017年8月7～10日

- 学内活動等（主要なもの）
 - ・ 全学評価・FD委員会 委員長
 - ・ ラーニングコモンズ専門委員会 委員長
 - ・ ICT授業検討ワーキンググループ 座長
 - ・ 大学教育推進機構紀要『大学教育研究』第26号 編集幹事
 - ・ 附属図書館研究開発室 室員
 - ・ 戦略情報室 室員
 - ・ 医学科カリキュラム委員会 委員

- 学内研修講師
 - ・ 近田政博「アクティブラーニングの実践方法」平成29年度新任教員ウェルカムセミナー、2017年5月15日
 - ・ 近田政博 “The pendulum swing: systematic learning vs. experiential learning” , 国際協力研究科 JICA 研修、2017年6月30日
 - ・ 近田政博「アクティブラーニングを促す成績評価のあり方」国際教育総合センター第37回コロキウム、2018年2月19日

- 学外講演
 - ・ 近田政博「指導教員と大学院生の信頼関係をどう築くか」高麗大学校（大韓民国ソウル特別市）、2017年12月11日
 - ・ 近田政博「大学院教育における研究指導の質をどう高めるか」愛媛県立医療技術大学、2018年1月15日
 - ・ 近田政博「ゼミナール教育の質保証に向けて」大阪経済法科大学、2018年3月6日

- 学会活動
 - ・ 日本比較教育学会 理事
 - ・ 一般社団法人大学教育学会 評議員
 - ・ 一般社団法人大学教育学会 課題研究候補選定委員会 委員
 - ・ 国立大学法人名古屋大学高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」運営委員会 委員

- 社会貢献活動
 - ・ NPO 法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 理事

友松 史子 特命助教

○ 論稿

- ・ 友松史子、杉野竜美「神戸グローバルチャレンジプログラム実施状況と成果 ー大
学教育推進機構コースを中心にー」、神戸大学大学教育推進機構『大学教育研究』
第26号、2018年3月、pp.131-147（執筆担当箇所：pp.131-144）

○ 学内活動

- ・ 平成29年度神戸グローバルチャレンジプログラム委員会委員
- ・ 平成29年度『大学教育研究』編集委員会編集委員

○ 学内における授業担当

■ 総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」（事前学修/学外学修/事後学修を担当）

平成29年度前期（第2クォーター）

- ・ モンゴル/インターンシップチャレンジコース
- ・ ベトナム/インターンシップチャレンジコース
- ・ ネパール/フィールドワークチャレンジコース
- ・ マレーシア/フィールドワークチャレンジコース

平成29年度後期（第4クォーター）

- ・ オーストラリア/グローバルチャレンジコース
- ・ ミャンマー/フィールドワークチャレンジコース
- ・ ラオス/フィールドワークチャレンジコース

■ 危機管理学修（本プログラムコース毎に開講）

- ・ 平成29年度前期（第2クォーター・本プログラム12コースの参加学生対象）
- ・ 平成29年度後期（第4クォーター・本プログラム5コースの参加学生対象）

■ 総合科目Ⅰ「アジアへの誘い」（副担当・平成29年度後期（第4クォーター））

- ・ 授業内容企画，コーディネート
- ・ 講義担当：第1回目，第8回目

<神戸グローバルチャレンジプログラムコーディネーター業務>

○ プログラム関連イベント企画立案, 準備, 運営等 (括弧内は実施月)

(学生対象)

- ・ 全体説明会 (4月) の企画立案, 準備, 運営, 本プログラム紹介担当
- ・ 英語力向上セミナー (6・7月) の企画立案, 開講準備, 運営
- ・ 神戸 GCP 講演会 (6月) の企画立案, 準備, 運営, 司会
- ・ 全体報告会 (10月) の企画立案, 準備, 運営

(教職員対象)

- ・ FD セミナー (3月) の企画立案, 準備

(教職員/学生対象)

- ・ 学生懇談会 (1月) 準備

○ 本プログラム危機管理関係

- ・ 緊急時対応シミュレーション訓練の企画立案, 準備
- ・ 本プログラムで実施されるコースの渡航国の安全情報収集, 関係教職員への情報発信

○ 広報関係

- ・ 本プログラム広報媒体 (HP, 年次パンフレット) 制作補助
- ・ ホームカミングデー (10月) 記念式典での学生の活動成果報告発表指導
- ・ 広報誌「風」(No.9, 2017年7月発刊) 本プログラム取材コーディネート

○ プログラム説明担当としての登壇

- ・ 本プログラム全体説明会でのプログラム概要説明 (4月)
- ・ 工学部主催本プログラム説明会でのプログラム概要説明 (4月)
- ・ 海外留学フェア (国際教育総合センター主催) での本プログラム概要説明 (11月)

○ 海外プログラムに関する学生の個別相談対応

○ シンポジウムの参加

- ・ 本プログラム助成事業 (大学教育再生加速プログラム テーマⅣ) 於 新潟 (12月)

<本プログラム大学教育推進機構コース担当業務>

- 新規コースの開拓
 - ・ 学外学修予定実施国の事前視察（マレーシア）

- 開講コースの企画立案

平成 29 年度前期（第 2 クォーター）

- ・ モンゴル/インターンシップチャレンジコース
- ・ ベトナム/インターンシップチャレンジコース
- ・ ミャンマー/インターンシップチャレンジコース
- ・ インド/インターンシップチャレンジコース
- ・ ネパール/フィールドワークチャレンジコース
- ・ マレーシア/フィールドワークチャレンジコース

平成 29 年度後期（第 4 クォーター）

- ・ ミャンマー/フィールドワークチャレンジコース
- ・ ラオス/フィールドワークチャレンジコース
- ・ マレーシア/フィールドワークチャレンジコース
- ・ タイ（バンコク）/フィールドワークチャレンジコース
- ・ タイ（チェンライ）/フィールドワークチャレンジコース
- ・ ドイツ/フィールドワークチャレンジコース

- 実施コース運営
 - ・ 開講コース参加学生募集（募集チラシ作成，コース説明会の実施）と応募学生面接
 - ・ 担当コース現地手配及び渡航国カウンターパートとの関係構築
 - ・ 海外出張（学外学修参与観察）：モンゴル,ネパール,マレーシア,ミャンマー,ラオス
 - ・ 学外学修先機関と交わす覚書作成

- その他
 - ・ 神戸グローバルチャレンジプログラム委員会への翌年度実施予定コース申請書作成
 - ・ 本プログラム大学教育推進機構分事業実績報告書
 - ・ 本プログラム大学教育推進機構分予算管理及び翌年度予算作成
 - ・ 本プログラム開講コース部局との意見交換会実施

杉野 竜美 特命助教

○ 論稿

- ・ 友松史子、杉野竜美「神戸グローバルチャレンジプログラム実施状況と成果：大学教育推進機構コースを中心に」神戸大学大学教育推進機構『大学教育研究』第26号、2018年3月、131-147頁

○ 研究ノート

- ・ 杉野竜美、武寛子、正楽藍「大学生の視点から見るに着目した海外留学・国際交流プログラムの課題：スキルの向上から資質の昂揚に向けて」香川大学インターナショナルオフィス『香川インターナショナルオフィスジャーナル』第8号、2017年5月、1-13頁

○ 学会発表

- ・ 杉野竜美、徳永俊太「多様性の視点から見たイタリアのコンピテンス」日本比較教育学会 第53回大会（東京大学）、2017年6月

○ 研究会報告

- ・ 杉野竜美「（アンケート調査報告）イタリアの学校において移民生徒が獲得するコンピテンシー」（西宮市大学交流センター）、2017年5月

○ 外国人研究者招聘

- ・ IDOS（移民調査研究センター）ウゴ・C・メルキオンダ、アントニオ・リッチによる講演会「イタリアにおける移民問題：政策と教育」（2月3日）（企画、準備、実施、司会）
- ・ 神戸大学国際文化学研究推進センターPROMIS 主催（日本学術振興会研究拠点形成事業）『日欧圏におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成』におけるIDOS（移民調査研究センター）ウゴ・C・メルキオンダ、アントニオ・リッチの発表参加（2月8日）（招聘準備、参加交渉）

○ 外部資金（研究代表者のみ）

- ・ 科研費・基盤研究C「多文化共生社会に向けた学校教育におけるコンピテンシーの生成」（2015年～2017年、2017年度分：143万円）

○ 所属学会

- ・ 日本比較教育学会

- ・ 日本教育学会
- ・ 日本教育社会学会
- ・ 異文化間教育学会
- ・ 教育目標・評価学会

○ 学内活動

- ・ 神戸グローバルチャレンジプログラム委員会（委員）
- ・ 平成 29 年度『大学教育研究』編集委員会 編集委員

○ グローバルチャレンジ実習

- ・ 「グローバルチャレンジコース（スイス、メキシコ、カナダ）」（2017 年夏実施）の事前学修、事後学修
- ・ 「グローバルチャレンジコース（フィリピン&ドイツ）」（2018 年春実施）の事前学修
- ・ 「フィールドワークチャレンジコース（タイ）」（2018 年春実施）のコーディネート、事前学修、事後学修

○ 神戸グローバルチャレンジプログラム：コーディネート

- ・ 神戸 GCP 新入生向け全体説明会（4 月 20 日、24～27 日）のコーディネート（広報、準備）
- ・ 神戸 GCP パネル展示（4 月 21～28 日）のコーディネート（広報、準備）
- ・ 神戸大学ホームカミングデイ記念式典（神戸 GCP 参加学生発表）（10 月 28 日）のコーディネート（広報、準備）
- ・ 神戸 GCP フェア：報告発表、パネル展示（10 月 30 日～11 月 10 日）のコーディネート（広報、準備）
- ・ AP 事業テーマⅣ「ギャップイヤー」シンポジウム（12 月 4 日）（採択校ポスターセッション参加）
- ・ 神戸 GCP 参加学生との懇談会（1 月 11 日）のコーディネート（広報）
- ・ 岩城奈巳教授（名古屋大学）による FD セミナー「海外プログラム参加学生を帰国後どうフォローするか～仕掛け作りとその展開～」（3 月 8 日）（広報、準備）

○ 神戸グローバルチャレンジプログラム：補助業務

- ・ 英語力向上セミナー（6 月 21 日～7 月 20 日：2 クラス計 10 回）の事務補佐
- ・ 総合科目Ⅰ「アジアへの誘い」（第 4 クォーター：12 月 6 日～2 月 7 日）の事務補佐